



いよいよ明日が卒業式です。卒業式では、昨年度に引き続き、地域の方をお招きすることを控えさせていただいています。たくさんのご支援をいただいているところですが、何卒ご理解をお願いいたします。

このよさが ~修了式~ どんどん広がりますように

子ども達にとって、たくさんの経験（成功も失敗もそして叱られたこともすべての経験が）が成長につながり、一年を終えます。修了式での話を抜き出してご紹介します。

今年度は、「自分達で考え行動する力をつけましょう」といってスタートし、二学期からは特に、「あいさつ・そうじ・ボランティア」をがんばろうと話してきました。

1年生は、しっかりと話を聞きます。いろいろなことに興味をもつ素直な心で、話す人に目をしっかりと向けて聞きます。

2年生は、六年生を送る会の練習で「六年生に楽しんでもらえるように」と相手のことを考えて自分達で話し合うことができました。

3年生は、外にいても遠くから元気にあいさつをしてくれるので、毎朝が気持ちよかったです。

4年生には、まっさきに雪かきをする働き者がいます。人の役に立つしごとを進んでやる気持ちが頼もしいです。

5年生は、話の聞き方が、言葉だけでなく、話す人の気持ちまで分かろうと思って聞いているように見えます。“かしこさ”と言えるでしょう。6年生に進んだら、さらに勉強し、ものを覚え、見方を鍛え、より深く考えられるようになるだろうと楽しみです。

こうして一年間を思い出すと、みなさんの姿の中に、「素直な心でしっかりと聞く姿」や「相手のことを考える姿」、「人に明るくやさしく接する姿」、「みんなのために真っ先に働く姿」、「人の気持ちを分かろうとする姿」がたくさん見つかります。

新学期も、このような「自分のがんばり」や「友達のがんばり・よさ」を教室中、そして学校中に広げていきましょう。

(子ども達はしっかりと聞いていました。5年生はもちろん、小さい1・2年も立派でした。)

今年も約束しました

「区切りの日」にすること

今年も修了式の中で子ども達と「家に帰ったら、修了証書をおうちの人にきちんと渡しましょう。という約束をしました。そして、「一年間ありがとうございました。これからもがんばるのでよろしくお願いします。」と感謝の言葉も言うことにしました。

「今日は『区切り』の日です。一つ上の学年の大人になるのですから、照れくさくても、区切りにふさわしい行動をさせたいと考えました。このようなことができる子にして、大人へ向けての階段を上らせることが我々大人の仕事だと思っています。どうか、子ども達の行いを受け止めていただき「立派だね」と声をかけていただきたいと思います。よろしくお願いします

かしこさ

15日(火)の2時間目に修了式の予行練習が行われました。人がたくさん集まる機会をできるだけ避けるため、練習といっても、この予行1回だけです。

はじめての集まりなので、自分の椅子をどこに置くか、どこにそろえるかをその場で教わります。5年生が先にそろってあとの学年を待っています。結構長い時間待っているはずの1年生もじっと待っています。椅子の場所が決まりました。「さーっ」と静まります。そのあと、全体の進行役の七十刈先生が、立つタイミングやお辞儀のタイミングの話をして試しに1回やってみました。「一同起立！」の号令に一齐に起立。・・・。「話を聞いてわかるのはすごい。練習は今の1回でよさそうですね。」そして、「これで終わりにします。」と練習を終わってしまったのでした。そのあとは本番と同じように予行練習を通すことができたのでした。

やって見せてもらったり、図にかいて説明してもらったりするのではなく、言葉で説明されてわかるというのには感心しました。高学年だけでなく、低学年もです。「閉式のことば」では副校長先生の「終わります」の言葉に、いつもの授業のように「はい」と元気よく返事をした低学年。「ここだけはもう一度やります。ここは、式なので返事をしないようにします。ではもう一度。」「・・・」返事をしないでお辞儀をしました。やっぱり一度でできました。よく見ると、**端っこの方にいる1年生は、体ごと舞台中央の演題の方に向けて座っています。手もひざの上のっています。**こうやって聞いているからわかるのでしょうか。かしこいです。

コロナの影響で今年度もどうなるか、おうちの方にご心配をおかけしました。授業参観もできたりできなかつたり、家庭訪問もできないままです。これまで築いてきたおうちの方や地域との信頼を絶やしてはいけなと思いながら苦心して進んできた一年でした。簡単に「できない」と決めるのではなく「どうにか工夫してできないか」と考えてきたつもりであります。おうちの方や地域の方々からご理解・応援をいただき、おかげさまで、子ども達の修了を迎えることができました。

1年生から5年生のみなさん、

修了おめでとうございます。

おうちの方々や地域の方々、これまでのご支援・ご協力、

ありがとうございました。

そして、6年生は**明日の卒業式**に向かいます。

今後の予定

- 3月18日(金) 卒業式
- 23日(水) 離任式
- 4月 6日(水) 始業式
- 7日(木) 入学式

心を定め、 自分の卒業を飾れ！

～卒業に向かう～

卒業式の練習を1回見せてもらい、6年生に次のような話をしました。

心は定まっていますか。自分が、どんな気持ちで式に臨むのか、どんな自分の姿で最後を締めくくるのか、そういうことを考え心を定めて式に臨んでほしい。立派にできるとしても、そういうことを考えてできているのがよいのです。周りで先生が見ているからとか先生に叱られるからとか、そういうことで立派にするのなら、そういう立派さはいりません。たとえ間違えようとも、最後の式に一生懸命臨もうという心が大事なのです。心が定まれば、しっかりできるものなのです。

そして、卒業式の予行練習で。

よい目つきをしています。心が定まったという目です。(…略…)

6年間のまとめとして、教えていただいたことを思い出し、「自分で考え」、「自分で行動」する。そして、「よし、立派！卒業してよし！」と「自分で自分に」言ってあげられるようならどんなに素晴らしいでしょう。周りから見ても、みなさんはきっと輝いて見えるのではないのでしょうか。会場には、紅白幕が張られ、本番には花が置かれてきれいに飾られますが、みなさん自身で卒業式を飾るのです。